

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.22》2014年12月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

今週の大分は、最高気温10℃と急に冷え込み、いよいよ冬の到来といったところですが、衆議院議員選挙も告示され、今日14日の投票日に向けて慌ただしくなっています。県立美術館OPAMも竣工し、新たな建築物での記念イベントでは多くの人で賑わいました。建設中の新大分駅ビルも、レンガ造りの壁面が現れるなど、来年に向けた大分の姿に期待が膨らんでいます。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>

◎ 大分県の海外関連施策について



海外関連施策に携わる県職員が、皆さまがお住まいの国・地域に向けて実施している県の施策等をご紹介します。ぜひ、県のPR等にご協力ください！



芸術文化スポーツ局
県立美術館
推進室

室長

佐藤 文博
(Fumihiko SATO)

【連絡先 (Mail)】

sato-fumihiko@pref.oita.lg.jp



県立美術館推進室長の佐藤と申します。

大分県立美術館(OPAM:オーパム)が10月に竣工しました。11月23日から30日にかけて、県立美術館の竣工を記念して、「OPAM誕生祭」を行いました。期間中は、3万4千人を超える方々にご来館いただきました。

美術館は、これから館内の空気環境等を整えた後、来年の4月24日にいよいよ開館の予定です。開館記念展は、「モダン百花繚乱—大分世界美術館—」と銘打って、国内外の傑作名品を紹介することとしています。

ミロ、モンドリアン、ピカソ、ターナーなどの海外作家の作品が、大分が誇る郷土作家の高山辰雄や福田平八郎、田能村竹田などの作品と、大分の地で出会うこととなります。さらに、国内からも九州初上陸となるような作品を紹介すべく、準備を進めているところです。

建築界のノーベル賞と言われるプリツカー賞を受賞した坂茂さんが設計し、世界的なキュレーターである新見隆(にいみりゅう)館長が手掛ける大分県立美術館、是非ともご期待ください。



OPAM全景



OPAMとIichiko総合文化センターを結ぶペデストリアンデッキ



1階アトリウム



〈米国ロサンゼルス大分県人会からのお便り〉



唐揚げ店とLAミス日系



歓迎会の様子

「今週11月1日、2日とL.A.のDownTownにてLittle東京の生誕130周年の記念行事として「Japan Fair」と称して色々な催し物がありました。その中で、郷土の料理をブースで出して現地の人に食してもらうイベントがあり、大分県からは宇佐の『天下とり』福田ご夫妻が来米され、唐揚げを振舞いました。」

～ロサンゼルス大分県人会長 会田様より～

県内の出来事(11月)

News 【11月 1日(土)】「人気漫画『進撃の巨人』作者が里帰り」

人気漫画「進撃の巨人」の作者諫山創さん(日田市大山町出身)を迎え、地元・大山町で初となるイベント「進撃の里帰り」が開催されました。全国各地から約2,500名のファンが集まり、中には登場人物の仮装をした人の姿も!2015年夏には実写映画の公開も決まり、郷土出身の諫山さんの益々のご活躍が期待されます。



News 【11月 9日(日)】「第34回大分国際車いすマラソン開催」

今年で34回目を迎える「大分国際車いすマラソン」が大分市で開催されました。激戦を制したのは男子/マルセル・フグ選手(28歳スイス)、女子/マニュエラ・シャー選手(29歳スイス)となりました。小雨が降るあいにくの天候でしたが、沿道から熱心な声援が送られ、選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮していました。



News 【11月10日(月)】「佐伯市がバイオマス産業都市に認定」

バイオマスを活用したまちづくり等に取り組む地域として、国は今年度全国から佐伯市を含む6地域を選定しました。県内での認定は佐伯市が初となります。認定を受け、市では今後「バイオガス」関連施設の整備に取り組む方針です。循環型のまちづくりとしての取組が注目されます。<http://www.city.saiki-oita.jp/biomastown-kousou.html>



News 【11月17日(月)】「お湯マジ22! in おんせん県おおいた」

県では、(株)リクルートライフスタイルと共同で、今年度22歳の方を対象に県内100カ所以上の日帰り温泉施設を無料とするキャンペーンを実施します。期間は平成26年11月17日(月)~平成27年3月31日(火)まで。情報発信と若年層の旅行需要拡大を目指しています。【公式HP】<http://www.jalan.net/doc/etc/oyumaji22/index.html>



News 【11月23日(日)】「県立美術館完成イベント・OPAM誕生祭」

来年4月24日に開館する県立美術館(OPAM)。このほど、完成記念イベントとして誕生祭が開催され、開放的な美術館を一般公開したほか、展示や講演会等の様々な企画が行われ、多数の入場者で賑わいました。大分県の芸術文化の発信拠点として、開館に向けた魅力的な企画の準備が進められています。



News 【11月30日(日)】「九州オルレ 新たに別府コースが認定」

県内3カ所目となる九州オルレ(※)「別府コース」が新たに認定されました。志高湖や由布川峡谷源流などを巡る自然豊かな約11kmの散策コースとなり、今後、オルレ発祥の地である韓国を中心に更なる観光客の誘致が期待されています。

※オルレ・・・韓国語で「家に帰る小道」の意。韓国発祥のウォーキングコース。



注目記事① 【11月5日～7日】「大分県香港プロモーション」

香港は世界有数の自由貿易区であり、巨大市場である中国本土へのゲートウェイ、成長著しいアセアンのハブとしても魅力的な地域です。

このたび、県と現地和食居酒屋チェーン「別府」との連携により、11月6日(木)～12月19日(金)まで、県産品を使った料理をメニューとして提供する「大分フェア」が開催されています。これに先立ちオープニングレセプションを開催し、現地のマスコミや貿易、小売り業者をはじめ本県に縁のある方々をお招きし、かぼすブリや豊後牛等を使用したメニューの試食を行いました。また、「糎」文化の伝承と普及に力を入れている佐伯市「糎屋本店」のこうじやウーマンこと浅利妙峰氏に講演いただいたほか、県観光のPRも行いました。

用意した食材はあっという間になくなり、来場者の皆様には質の高い県産品を堪能頂けたようです。今後も、香港における県産品取引拡大や観光客誘致に取り組んで参ります。



「別府」でのオープニングレセプション

ビュッフェテーブルの様子

浅利妙峰氏 講演

注目記事② 【11月21日(金)】「留学生による大分県CM公開！」

Oita Prefectural Government
International Policy Division
Oita Promotion Videos
Created by international students

お待たせいたしました！県内在住留学生が制作した大分県CMをWeb(You Tube)で公開しました。各種メディアに取り上げられるなど話題となっています。ぜひお知り合いの方々にシェアをお願いします！

【世界向け大分県CM(1)】
<http://youtu.be/GEcrL2wsAvs>



【世界向け大分県CM(2)】
<http://youtu.be/IQ8fP7aCYns>



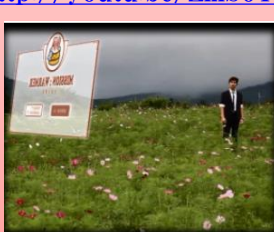
【タイ向け大分県CM】
<http://youtu.be/faJdnYmnUXI>



【韓国向け大分県CM】
<http://youtu.be/6CaLHAPpRoA>



【中国向け大分県CM】
<http://youtu.be/ZmSoYdKYO30>



【台湾向け大分県CM】
<http://youtu.be/KASzg0gffn0>





注目記事③ 「APU学生が綱引きで世界ギネスに挑戦！」

「11月1日(土)、立命館アジア太平洋大学(APU)で留学生が参加し綱引イベントが開催されました。本企画は同大学の学園祭「天空祭」にあわせ、卒業生輩出10周年の記念イベントの1つとして開催され、また同時に卒業生や現役学生、大学役職員、大分県民の皆様と一緒に次の10年に向けて新しい挑戦をしていこうというキックオフイベントでもありました。

当日は世界52カ国・地域の学生・卒業生が参加し、今後ギネス記録として新たに登録される見込みです。県内にはかつて世界1位になった“コスモレディーズ”という強豪チームがあり、留学生にも大分県に縁のある綱引を体験していただいたことは大分県を知る上で、貴重な経験となったのではないかと考えています。

本企画を開催するにあたり、大分県綱引連盟をはじめ、ご支援いただいた関係者の皆様に感謝致します。ありがとうございました。」【寄稿】APU大分校友会 岡田祥伸 様



APU FAFAホームページ<http://www.apu.ac.jp/spa/modules/studentlife/article/?contentid=143>

中国湖北省研修員の熊婧さんが、研修期間を終え帰国します。

中国湖北省の交流の一環として来県した研修生が、このたび研修期間を終えて帰国しました。お世話になった皆さまへのメッセージです！

中国湖北省研修員の熊婧と申します。湖北省と大分県との人的交流の一環として、大分県で観光研修を受けていました。五ヶ月の間に温泉をはじめとする大分県の自然風土・歴史文化にすっかり魅了されました。11月23日(日)に帰国しましたが、今後は大分県の「めじろん海外特派員」として、両地域の架け橋として交流促進と関係深化に努めさせていただきます。また、今後は、一人でも多くの中国の人達に豊かな観光資源を有する大分の魅力をPRしていきたいと思っております。

研修期間中に仕事や生活の面で職場の同僚に大変お世話になりました。みなさんに出会えたことで、素敵な思い出ができました。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願っています。



【氏名】熊婧(ユウ・セイ)
【所属】湖北省咸寧市人民
政府外事弁公室



知事への離任あいさつ



大分上野丘高校

スーパーグローバルハイスクール(SGH)の取り組み



①上野丘から世界へ

本校は、この春、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受けました。全国で56校、九州ではわずか3校のみの指定でした。この事業は「急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、語学力とともに、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来的に政治、経済、法律、学術等の分野において国際的に活躍できるグローバル・リーダーを、高等学校段階から育成する」という目的でスタートしました。本校は、「上野丘から世界へ」をスローガンに、様々な活動に取り組んでいます。

②活動の中心は「課題研究」

SGHの活動の中心は、週4時間の「課題研究」です。これは、グローバルな課題について知識を深め、世界で活躍するための批判的思考力や論理的思考力、コミュニケーションツールとしての英語力を身につけるために設定された教科です。月毎にテーマを決め、環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題などのグローバル課題について理解し考える授業が行われます。さらに、班ごとに研究テーマを設定し、調査研究を進め、レポートを作成していきます。この過程で、立命館アジア太平洋大学の国際学生を学校に招き、各班のチューターとして情報提供やアドバイス、あるいはディスカッションに参加してもらいます。最終的には、調査研究した内容を英文でのレポートに仕上げ、プレゼンを行います。

③立命館アジア太平洋大学との連携

前項でも示したように、本校の活動は立命館アジア太平洋大学(APU)の国際学生との連携が大きなポイントとなっています。本事業のキックオフイベントとして、APU学長の是永駿氏の講演会や蒲江のマリンカルチャーセンターで実施された1年生の集団宿泊研修にAPUの国際学生20名を招いて、交流学习会を行いました。10月からは毎月2回、定期的に国際学生が来校し、協働研究が始まります。こうした活動を通して、生徒には自分たちにはないグローバルな視点・考え方に気づき、世界的な視野を獲得してもらいたいと願っています。

④地元グローバル企業との連携

本事業では、地元のグローバル企業からも多大な協力を得ています。今年度は、大分キヤノン、大分銀行、九州旅客鉄道、新日鐵住金、ダイハツ九州、ツーリズム大分の各企業様からご講演をいただきます。グローバルに事業展開する企業から、世界市場の現状や海外戦略の方策、異文化融合の苦労話などを具体的に聴くことで、生徒の世界への興味関心も高まっています。今年度の活動を踏まえ、次年度以降もより多くの地元のグローバル企業と連携して、生徒の育成に当たっていきたくと考えています。

⑤東京国内研修とベトナム海外研修

SGHの活動の大きな特徴は、国内外での豊富な体験研修にあります。本校では、12月に東京での国内研修が予定されています。また来年3月にはベトナムでの海外研修も計画中です。この海外研修では、生徒によるフィールドワークを中心に、現地の学生や邦人企業の方との交流を考えています。

大分の高校生が、SGHの活動を通してどう成長していくのか、ぜひ世界で活躍する多くの大分県関係者の皆様に見守っていただき、ご助言やご協力をいただければと思います。

【寄稿】大分上野丘高校 教頭 渡辺智久 様
watanabe-tomohisa@oen.ed.jp



(企業講演会の様子)



(APU国際学生との交流の様子)



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします



林 泰男
(Taenam Lim)

県国際交流員
韓国(ソウル)

pu101502@pref.oita.jp

大分の主な産業の一つである半導体産業の発展・活性化のために取り組んでいる「大分県LSIクラスター形成推進会議」と、韓国の亀尾[クミ]市の中小企業協議会との商談会及び交流会が12日に行われました。

これは昨年両団体が締結したMOUによって行われたもので、両地域の企業同士で新たなビジネスチャンスや協力のきっかけを作るために設けられたこの交流会では互いの企業事情についての話や技術交流など様々な議論が行われました。今後も先端技術における両地域のさらなる協力を期待したいと思います。



楊 鋼
(Yang Gang)

県国際交流員
中国(湖北省)

pu101501@pref.oita.jp

最近、JTB九州の「大分アジア彫刻展とジオパークツアー」に参加して朝倉文夫記念館に行きました。第12回彫刻展の現場では7点の受賞作品と23点の入選作品が展示されています。来場者の投票により「豊後大野賞」を1点選出することになっているようですが、私も自分の好きな作品に投票しました。見学が終わった後はストーンペインティング体験に参加しました。それは川端から拾ってきた色々な形の石の中で自分の好きな石の一つを選んで、どんな姿になりたいのかを考えてから鉛筆で好きな動物や物件の模様を描き、それから絵筆で着色し、一つの作品になるということです。同行の皆さんは皆上手に絵をかき、可愛い作品を作りました。とても有意義で楽しい旅でした。



ミアム・スターリング
(Miriam Starling)

県国際交流員
英国

pu101503@pref.oita.jp

名古屋の友人が大分を訪問する機会があり、湯布院で一日を過ごしました。由布岳が見られる温泉に入ったり、魅力のあるカフェで食事をしたり、紅葉を見たりして、「湯布院は女子会ぴったり！」という意見を持つようになりました。私は特に秋と冬が大好きなので、紅葉の下でカボス・アイスを食べながら歩き回ることがとても楽しかったです。このようなチャームな所が私住んでいる県にあることを誇りに思います。そして、湯布院にあるユニークな「Snoopy Chaya」という抹茶カフェに行き、Snoopyの大きいぬいぐるみと一緒におやつを食べました。Snoopyの日本画が壁にかかっている、店にSnoopyの茶道の道具もあったのですごく珍しい店だと思えます。Snoopyはとてもアメリカっぽくて、Snoopyと日本の伝統的な緑茶の組み合わせは国際交流の素晴らしい実例だと言えるかもしれないでしょう。また行きたくてたまらないです！



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【佐伯市／臼杵市】



(佐伯市)
「ととろの星」



(佐伯市)
「ごましうどん」



(臼杵市)
「野上赤生子文学記念館」



(臼杵市)
「風連鍾乳洞」



話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】

国際政策課 担当:猿渡(さるわたり)

【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

